

小岩井農場一本桜（雫石町）



ふるさと岩手応援寄付

～令和3年度事業実施状況のお知らせ～



穴通磯（大船渡市）

御挨拶

令和3年度寄附者の皆様

日頃から、岩手県を応援いただき、ありがとうございます。

令和3年度、ふるさと岩手応援寄付に、3,958件、144,367,353円もの御支援をいただきました。本県へ温かい御寄附を賜り誠にありがとうございました。

皆様の「岩手県を応援したい!」というお気持ちを踏まえ、大切に活用させていただきました。本書では寄附金を活用して実施した事業の実施状況をまとめましたので、御一読いただければ幸いです。

令和3年度は、寄附対象事業に「岩手の農林水産業を応援」を追加し、新たに、農林水産業の次代を担う新規就業者の育成などの取組に活用させていただきました。(詳しくは、本書7ページをご覧ください。)

これからも、皆様の応援に応えられる県政を推進して参ります。

今後とも、御支援のほどよろしく願いいたします。

令和4年12月

岩手県

岩手県への御支援の御案内

県への直接のお申し込みのほか、ふるさと納税ポータルサイトも活用しながら、ふるさと岩手応援寄付を承っております。引き続き、皆様に御支援をいただけますと幸いです。

【岩手県ホームページ】

「ふるさと岩手応援寄付」について、詳しく御紹介しています。

令和2年度以前の寄附金の活用状況も掲載しています。

ぜひご覧ください。

ふるさと岩手応援寄付



電子決済(クレジットカード払い、コンビニ決済、キャリア決済など)によるご寄附は、次のふるさと納税ポータルサイトにて承っております。

ふるさとチョイス
あなたの意思をふるさとに

「ふるさとチョイス」



さとふる
さとふる

「さとふる」



「ふるなび」

ふるさと納税なら
ふるなび



「楽天ふるさと納税」



地域から日本を元気に!
楽天ふるさと納税

「ふるなび
トラベル」

新しく生まれ変わりました。
ふるなびトラベル
トラベルポイントなら無期限!



目次

No.	項目	ページ
I 事業応援型寄附		
1	「いわての学び希望基金」に活用	… 1
2	「東日本大震災津波伝承館の運営」に活用	… 1
3	「いわて子どもの森遊具充実」に活用	… 2
4	「子どもの居場所づくり応援」に活用	… 2
5	「動物愛護・適正飼養の普及啓発」に活用	… 3
6	「子どもたちの夢を応援! 県立学校の環境充実」に活用	… 3
7	「岩手県立大学未来創造応援プロジェクト」に活用	… 4
8	「グローバル人材の育成」に活用	… 4
9	「三陸鉄道の支援」に活用	… 5
10	「災害復旧等対策」に活用	… 5
11	「いわて産業人材奨学金返還支援基金」に活用	… 6
12	「伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業支援」に活用	… 6
13	「岩手の農林水産業を応援」に活用	… 7
14	「いわての世界遺産の保存と活用」に活用	… 7
15	「海洋ごみ対策」に活用	… 8
16	「海岸環境整備事業」に活用	… 8
17	「いわて社会貢献・復興活動支援基金」に活用	… 9
18	「ILCプロジェクト」に活用	… 9
19	「北上川バレープロジェクト」に活用	… 10
20	「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」に活用	… 10
21	「北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト」に活用	… 11
	【ゾーンプロジェクトについて】	… 11
II 特定課題対応型寄附		
22	「新型コロナウイルス感染症対策」に活用	… 12
III クラウドファンディング型ふるさと納税		
23	いわて子どもの森 みずの広場再生プロジェクト	… 13
24	【三陸鉄道応援】被災地の「今」と三陸鉄道の魅力を伝える 映像制作とモニター設置を支援したい	… 13
IV 分野別型寄附の活用状況		… 14~15

1.「いわての学び希望基金」に活用

令和3年度活用実績 51,862,678円

東日本大震災津波により被災した子どもたちが、自らの希望に沿った学校を卒業し、社会人として独り立ちするまで、息の長い支援を行うことを目的としており、いただいた御寄附は次のような修学の支援、教育の充実を図るための事業に活用しました。

○奨学金給付事業

震災により親を失った児童・生徒等に対して奨学金を給付し、「暮らし」と「学び」の支援を行いました。

○教科書購入費等給付事業

被災した高校生に対し、入学一時金や教科書購入費、修学旅行費、高校等入学一時金などを支援しました。

○被災地生徒運動部活動支援事業

運動部活動において、被災した中学生、高校生がこれまでと変わらず県内外の大会に参加するために必要な交通費等を支援しました。

○被災地児童生徒文化活動支援事業

文化活動において、被災した小・中学生、高校生がこれまでと変わらず県内外の大会やセミナーに参加するために必要な交通費等を支援しました。

○被災地通学支援事業費補助

被災した生徒等に対する通学の支援を図るため、通学定期券購入費の助成を行いました。



授業風景



文化祭の様子



東日本大震災津波伝承館での学習風景

担当：復興防災部復興推進課推進担当 電話：019-629-6935

2.「東日本大震災津波伝承館の運営」に活用

令和3年度活用実績 5,646,377円

東日本大震災津波伝承館では「命を守り、海と大地と共に生きる」を展示テーマに、東日本大震災津波の悲しみを二度とくり返さないために、津波の映像や写真、被災者の声や被災物の展示を通して、震災の事実と教訓を国内外及び次世代に伝承しています。いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

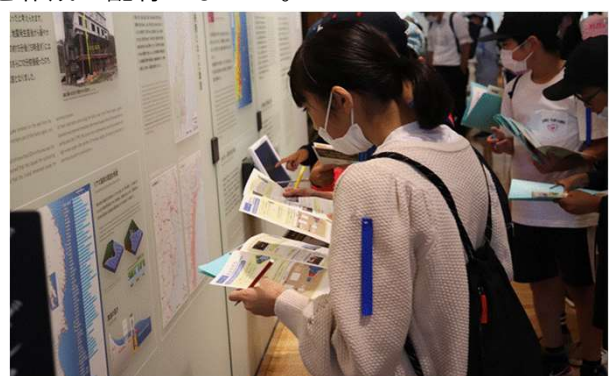
○企画展示の開催

発災から復興に至るまでの状況や、防災・減災に関する情報など常設展示の内容を補う企画展示を開催し、来館者に「学びの場」を提供しました。



○震災学習プログラム教材の作成・配付

震災津波の体験、記憶がない児童・生徒にも展示内容の理解が深まるよう、震災津波伝承ノート（中高生用）及び震災津波学習ノート（小学生用）を作成し配付しました。



担当：東日本大震災津波伝承館 電話：0192-47-4455

3.「いわて子どもの森遊具充実」に活用

令和3年度活用実績 3,021,037円

いわて子どもの森は、自然の中でのびのびと自由に遊びやふれあい体験ができる全県的な子どもの健全育成の拠点として、平成15年5月5日に開館した大型児童館です。いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○木製遊具の設置

岩手県産の木材を利用した遊具を設置し、子どもたちが遊べる環境の充実につなげることができました。



担当：保健福祉部子ども子育て支援室子ども家庭担当 電話：019-629-5457

4.「子どもの居場所づくり応援」に活用

令和3年度活用実績 6,782,037円

子どもが一人でも安心して過ごすことができ、食事や交流、活動を通じて様々なことを学ぶことができる子ども食堂や学習支援などを行う「子どもの居場所」の立ち上げの支援や、「貧困の連鎖」を防止するための学習会・個別指導等を実施しており、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○子どもの居場所づくり推進事業費補助 (子ども子育て支援室)

子ども食堂や学習支援などを行う「子どもの居場所」の新規開設や機能強化を行う団体等に対し、設備改修や調理器具の購入などの経費を市町村と連携して支援しました。

また、「子どもの居場所ネットワークいわて」を通じて「子どもの居場所」の新規開設や運営継続等に関する支援を行いました。

食を通じた見守りや交流の実施



○子どもの学習・生活支援事業 (地域福祉課)

貧困による学習機会の格差を解消するため、生活に困窮する世帯等の子どもを対象に学習会及び個別指導を実施し、自主学習への助言指導、進路相談・悩み相談等に対応しました。

また、学習支援に加え、生活習慣・育成環境を改善する支援を行うことにより、「子どもを入り口とした世帯全体への支援」を行いました。



学習会の様子

担当：保健福祉部子ども子育て支援室次世代育成担当 電話：019-629-5456
保健福祉部地域福祉課指導生保担当 電話：019-629-5425

5.「動物愛護・適正飼養の普及啓発」に活用

令和3年度活用実績 4,586,932円

動物愛護関連行事を開催し、動物愛護思想の普及啓発に取り組むとともに、動物愛護団体等と連携した譲渡会の開催など、積極的な譲渡の取組や負傷した動物の治療に活用しました。

○動物愛護推進事業費・狂犬病予防費

動物愛護週間行事

動物愛護思想や適正飼養の関心と理解を深め、より多くの県民に対する普及啓発を行うため動物愛護週間行事を開催しました。動物を通じて命の大切さや共につながり支えあう心の学びにつながっています。



動物愛護週間フェスティバルの様子

動物愛護団体等と連携した譲渡会

保健所に引き取られたり、飼い主に返還されなかった動物の譲渡会を動物愛護団体等と連携し定期的に開催しています。新しい飼い主の方への譲渡により、殺処分数の減少につながっています。



保護猫の譲渡会の様子

担当：環境生活部県民くらしの安全課食の安全安心担当 電話：019-629-5323

6.「子どもたちの夢を応援！ 県立学校の環境充実」に活用

令和3年度活用実績 3,487,787円

岩手の未来を担う子どもたちが自身の夢や希望に向かって勉強や部活動に取り組むため、県立学校の生徒が授業で使用する設備や部活動で使用する備品の整備など、教育環境の充実を図る事業を行っており、いただいた御寄付は次のような事業に活用しました。

○産業教育設備整備費

高等学校の産業教育に必要な実験実習設備等を整備し、農業・工業・商業・水産業その他の産業の即戦力となる人材育成につながっています。



授業風景

○部活動設備整備費

部活動に必要な設備を整備し、スポーツ・文化・科学・芸術等の楽しさや喜びを味わい、豊かな学校生活を自ら創造する活動の場になっています。



活動風景

担当：教育企画室施設整備管財担当 電話：019-629-6152

7.「岩手県立大学未来創造応援プロジェクト」に活用

令和3年度活用実績 1,621,592円

岩手県立大学では、地域に根差した高等教育機関としての役割を充実・強化し、地域に貢献する取組を実践しており、各市町村における地方創生の取組をはじめ地域の課題解決や産業振興に向けた取組など、岩手県立大学が県民のシンクタンクとして地域の未来創造に貢献する取組を推進するための事業に活用しました。

○公立大学法人岩手県立大学運営費交付金

岩手県立大学では、県内のものづくり産業の生産性・付加価値向上に繋がる産学共同研究や高度技術者の育成を推進するため「いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンター」(通称:i-MOS)を設置・運営するとともに、地域貢献を目的とする研究を推進し、当該研究の成果普及を促進するため「地域政策研究センター」を設置・運営し、県民が抱える課題に対応した研究や産学官連携の取組を推進しており、県は運営費交付金でこれらの取組を支援しました。



岩手県立大学 滝沢キャンパス



i-MOS 高度技術者養成講習会の様子

担当:ふるさと振興部学事振興課学事企画担当 電話:019-629-5045

8.「グローバル人材の育成」に活用

令和3年度活用実績 1,736,037円

国際的な視野を持って地域で活躍する人材の育成や県内定着を進めるため、産学官が一体となった「いわてグローバル人材育成推進協議会」で実施する外国人留学生等の県内就職支援や、県内企業との交流機会の創出のための事業に活用しました。

○グローバル人材を対象としたキャリアフェア

外国人留学生等の県内での就職・定着を支援することを目的として、「グローバルキャリアフェア」を開催しました。

○事前オリエンテーション

キャリアフェア開催に先立ち、事前オリエンテーションを開催し、就職活動の進め方について学ぶとともに、県内企業研究のワークショップを行いました。



キャリアフェアの様子



オリエンテーションの様子

担当:ふるさと振興部国際室 電話:019-629-5765

9.「三陸鉄道の支援」に活用

令和3年度活用実績 9,217,428円

皆様から頂いた御寄付は、通勤や通学等で日常的に利用いただいている方々の利便性の向上や企画列車を運行する際の車内企画の充実等を図るため、車内のボックス席にテーブルを設置するための費用に活用させていただいております。令和5年2月までに、車両3台の各ボックス席にテーブルを設置する予定です。



(テーブル設置イメージ)



(企画列車の様子)

担当:ふるさと振興部交通政策室地域交通担当 電話:019-629-5206

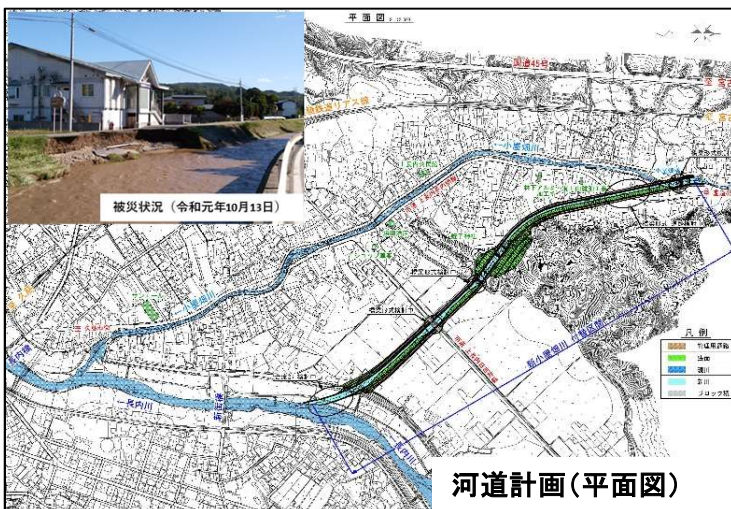
10.「災害復旧等対策」に活用

令和3年度活用実績 5,348,177円

令和元年発生 of 台風19号により被災を受けた二級河川小屋畑川では、浸水被害の軽減を図ることを目的とした河川改修工事を予定しています。いただいた御寄付は河道計画の立案に活用し、地元住民を対象に説明会を実施しました。当該成果をもとに事業化となりましたので、治水安全度の向上に向け、事業を推進していきます。

○河道計画の立案

二級河川小屋畑川において、浸水被害の軽減を図るため、下記のような河道計画を立案しました。



○住民説明会の実施

河道計画の立案に伴い、地元住民を対象に説明会を実施しました。



担当:県土整備部河川課河川海岸担当 電話:019-629-5903

11.「いわて産業人材奨学金返還支援基金」に活用

令和3年度活用実績 1,466,037円

将来の本県産業を担うリーダーとなる人材を確保し、地域産業の高度化と持続的な発展を推進していくため、学生が大学などを卒業後または既卒者がU・Iターンを希望し、県内企業に一定期間就業することを条件に奨学金の返還支援を行っており、いただいた寄附を助成金の一部として活用しています。

- (独法)日本学生支援機構の第一種及び第二種奨学金の貸与を受けている支援対象者に対し、貸与金額の1/2(最大250万円)まで助成しています。
- 支援対象者の生活への負担を少しでも軽減するため、就業1年目から毎月の奨学金返還額と同額を助成しています。



担当：商工労働観光部ものづくり自動車産業振興室 電話：019-629-5551

12.「伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業支援」に活用

令和3年度活用実績 1,981,037円

県内地場産品事業者が、環境変化に対応し、付加価値の高い、働きがいのある産業として持続的に成長していくため、自社商品開発支援や情報発信、人材確保のための学生インターンシップ等の取組を行っています。いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

- ホームスピンの伝統的工芸品新規指定支援
経済産業大臣が指定する伝統的工芸品の新規指定に向け、申請等への支援や、県内ホームスパン事業者の作品を一堂に集めた展示販売会を実施し、機運醸成を図りました。

- 漆インターンシップ事業
県外の学生に対し、塗師、木地職人等の仕事を体験してもらい、漆産業の情報発信及び人材確保につなげるインターンシップ事業を実施しました。



ホームスパン展示販売会の様子



インターンシップ実習の様子

担当：商工労働観光部産業経済交流課地域産業担当 電話：019-629-5535

13.「岩手の農林水産業を応援」に活用

令和3年度活用実績 2,826,037円

東日本大震災津波からの漁業の復興に向けて、若年層を対象とした漁業体験学習などの実施や、漁業就業希望者を対象とした本県独自の漁業研修機関を運営することにより、次代を担う意欲ある漁業担い手の確保・育成に取り組んでいます。いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○漁業担い手確保・育成総合対策事業

東日本大震災津波からの漁業の復興を目的として、地域漁業の将来を担う漁業者の確保・育成に取り組んでいます。



漁業体験学習の様子

○いわて水産アカデミー運営支援事業

漁業就業者の確保・定着を目的として、漁業の基礎的な知識や最新の技術を習得できる「いわて水産アカデミー」の運営を支援しました。



定置網漁業実習の様子

担当：農林水産部水産振興課 電話：019-629-5806

14.「いわての世界遺産の保存と活用」に活用

令和3年度活用実績 1,556,037円

岩手の3つの世界遺産「平泉」「橋野鉄鉱山」「御所野遺跡」を、人類共通の宝として未来へ継承していくため、平泉世界遺産ガイダンスセンターが令和3年11月に開館したほか、世界遺産の適切な保存管理や、価値の普及に取り組んでおり、いただいた御寄附は、次のような事業に活用しました。

○平泉世界遺産登録10周年記念事業費

「平泉の文化遺産」の世界遺産登録10周年を契機として、県民の理解増進や保存活用に向けた普及啓発等に取り組んでいます。

○御所野遺跡世界遺産登録記念事業費

「御所野遺跡」を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を契機として、県民理解の更なる増進を図るため、記念事業による普及啓発等を実施しました。

○平泉文化遺産ガイダンス施設管理運営費

「平泉の文化遺産」を総合的に紹介する「平泉世界遺産ガイダンスセンター」の展示解説や企画展示の充実、適切な管理運営に取り組んでいます。



平泉世界遺産登録10周年
ロゴマーク



御所野遺跡世界遺産登録記念式典



平泉世界遺産ガイダンスセンター

担当：文化スポーツ部文化振興課世界遺産担当 電話：019-629-6488

15.「海洋ごみ対策」に活用

令和3年度活用実績 3,266,893円

近年、海洋に流出するプラスチックごみなどによる地球規模での環境汚染が懸念されており、海岸に漂着したごみの回収・処理やモニタリング調査を行っているところです。いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○海岸漂着物等地域対策推進事業費

- ・ 県民の皆さんが海洋ごみ問題に関心を持ち、海岸清掃活動等に積極的に取り組む機運を醸成すべく、「海ごみゼロウィーク」での海岸清掃イベントの開催、広報による県民向けの啓発活動を行いました。
- ・ 海洋ごみの啓発パンフレットを約1万部作成し、県内小学校に配布しました。また、パネル展示を行い、海洋ごみ問題の周知を行いました。
- ・ 本県海洋上でのプラスチックごみ（特にマイクロプラスチック）の実態調査を行いました。

○河川海岸等維持修繕費

海岸における良好な環境を保全するため、海岸に漂着したごみの回収・処理やモニタリング調査を行いました。



清掃活動の様子



清掃活動の参加者集合写真



啓発パンフレット(表紙)

担当:環境生活部資源循環推進課 電話:019-629-5367/県土整備部河川課 電話:019-629-5907

16.「海岸環境整備事業」に活用

令和3年度活用実績 1,656,037円

東日本大震災津波や地盤沈下により砂浜が消失した根浜海岸において、平成30年度から砂浜再生事業による養浜工事を進め、令和3年3月31日に砂浜の一般開放を行いました。いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○海岸調査費

砂浜再生事業により養浜を行った砂浜のモニタリング等を行いました。砂浜は令和3年3月31日に一般開放され、令和4年度も7月18日に海開きが行われたほか、「オープンウォータースイミング2022 根浜」が開催されるなど、多くの方々に砂浜を利用いただいています。



養浜前の根浜海岸



養浜後の根浜海岸



海開き前の清掃活動の様子(R4.7)

担当:県土整備部河川課河川海岸担当 電話:019-629-5907

17. 「いわて社会貢献・復興活動支援基金」に活用

令和3年度活用実績 2,561,037円

復興支援活動及び地域課題解決に取り組むNPO等への支援として、NPO等の運営基盤を強化することを目的とした事業の経費として活用しており、いただいた寄附は次のような事業に活用しました。

○NPO活動交流センター管理運営費

復興支援などを活動目的とするNPO等が目的達成まで安定的な運営ができるよう、団体の運営基盤強化を目的とした各種研修を行いました。

○NPO等基盤強化事業

県内のNPOが実施する地域課題解決の活動への支援として、図書サービスの環境整備による読書活動の推進など、協働の取組に対し補助金を支給しました。



オンライン研修風景



読み聞かせ会の様子1



読み聞かせ会の様子2

担当:環境生活部若者女性協働推進室 電話:019-629-5199

18. 「ILCプロジェクト」に活用

令和3年度活用実績 1,637,730円

国際協力で建設される世界最先端の研究施設「国際リニアコライダー(ILC)」の実現に向けて、国内外への情報発信、建設候補地として必要となる受入環境整備に向けた調査検討や県内企業の加速器関連産業への参入促進、人材育成の取組など、積極的な活動を展開するため、いただいた寄付を次のような事業に活用しました。

○加速器関連産業の振興

専門家の企業訪問によるニーズと技術のマッチングやオンライン方式での技術セミナー開催等、県内企業の技術力向上や加速器関連産業への参入及び受注の促進に取り組みました。

○機運醸成に向けた取組

ILC実現に向けた機運の醸成を図るため、SNSやホームページによる国内外向けの情報発信、県内外のイベントでのブース出展、県内プロスポーツチームと連携したPRなどの取組を行いました。



「技術セミナー」の開催



「VACUUM2021真空展」(東京都)

担当:ILC推進局事業推進課 電話:019-629-5203

19.「北上川バレープロジェクト」に活用

令和3年度活用実績 1,306,037円

いわて県民計画(2019~2028)の重要プロジェクトである「北上川バレープロジェクト」の目指す姿である「働きやすく、暮らしやすい」エリアの実現に向けて、いただいた御寄付は次のような北上川バレーの魅力を広く発信するためのセミナーを開催しました。

○地域コミュニティ活性化セミナー&北上川バレーセミナー

「新しい地域づくりへの取組」をテーマに、アフターコロナを見据え、新たな働き方として、シェアリングエコノミーの提案やSDGs未来都市となった岩手町において、進められているリビングラボの取組を紹介するセミナーを開催しました。

○ODXの推進と人が集まる地域づくりセミナー

県内におけるDXの推進と、先端技術のあらゆる産業分野・生活分野への導入などを通じた「働きやすく、暮らしやすい」エリアの実現に向けて、先進的な取組を紹介するセミナーを開催しました。

担当: ふるさと振興部地域振興室地域振興担当 電話: 019-629-5184

20.「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」に活用

令和3年度活用実績 1,396,037円

「三陸防災復興ゾーンプロジェクト」は、三陸地域の多様な魅力を発信して国内外との交流を活発化することにより、岩手県と国内外をつなぐ海側の結節点として持続的に発展するゾーンの創造を目指すための事業を行っており、いただいた御寄付は次のような事業に活用しました。

○三陸防災復興ゾーンプロジェクトの推進
三陸地域の総合的な振興を図るため、県、市町村、大学及び関係団体を構成員とする「三陸振興協議会」において、今後の三陸振興に向けて議論しました。



三陸振興協議会の様子

○防災を学習する場づくりの推進
三陸地域で、それぞれ取り組んでいる震災伝承や防災教育等の活動について、広域的な取組とし、三陸地域全体を防災を学習する場としていくための仕組みづくりに取り組みました。



三陸地域で防災学習に取り組む様子

担当: ふるさと振興部県北・沿岸振興室沿岸振興担当 電話: 019-629-6222

21.「北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト」に活用

令和3年度活用実績 1,226,037円

県北圏域をはじめとする北いわての持つポテンシャルを最大限に発揮させる地域振興を図るとともに、人口減少と高齢化、環境問題に対応する社会づくりを一体的に推進することで、あらゆる世代がいきいきと暮らし、持続的に発展する先進的なゾーンの創造を目指すための事業を行っており、いただいた御寄附は次のような事業に活用しました。

○ 北いわて産業・社会革新推進コンソーシアムの設立

産学官で構成する「北いわて産業・社会革新推進コンソーシアム」を設立し、プロジェクトミーティング等により広域的な施策を検討しました。



設立総会をオンライン開催

○ 北いわて産業・社会革新部門の設置

令和元年4月に県と岩手県立大学との間で締結した「北いわての地域課題の解決及び産業振興に向けた連携協力協定」に基づき、大学内に「北いわて産業・社会革新部門」を共同で設置し、地域連携コーディネーターを配置するとともに、地域課題解決モデル創出事業などを行いました。



連携協力協定式の様子

担当：ふるさと振興部県北・沿岸振興室県北振興担当 電話：019-629-5211

【ゾーンプロジェクトについて】

19～21の3つのプロジェクトでは、岩手県内を3つのゾーンに分け、各ゾーンの特徴を生かした地域振興に取り組んでいます。

各プロジェクトの取組は岩手県ホームページ等でご紹介しています。ぜひご覧ください。

北いわて産業・社会革新 ゾーンプロジェクト

「北いわてをSDGsの先進地にしたい」

取組紹介はこちら
(岩手県ホームページ)



北上川バレープロジェクト

「北上川流域を働きやすく
暮らしやすいゾーンにしたい」

取組紹介はこちら
(岩手県ホームページ)



三陸防災復興ゾーン プロジェクト

「三陸地域を多くの人が集まる
ゾーンにしたい」

取組紹介はこちら
(専用ホームページ)



復興に取り組む地域の姿や「ジオパーク」や「食」など三陸地域の魅力を発信しています。

「三陸防災復興
プロジェクトTwitter」



「三陸防災復興
プロジェクトFacebook」



22.「新型コロナウイルス感染症対策」に活用

令和3年度活用実績 14,471,748円

新型コロナウイルス感染症患者の入院受入医療機関の負担軽減と新型コロナウイルス感染症患者等の診療に携わる医療従事者の待遇向上のため、当該医療機関に対して危険手当の支給に係る経費を補助する事業の事業費の一部として活用しました。

○新型コロナウイルス感染症対応医療従事者危険手当支給費補助事業

新型コロナウイルス感染症患者の入院受入医療機関に対して、当該医療機関に勤務する医療従事者への危険手当支給に係る経費を補助しました。



新型コロナウイルス感染症患者等の対応業務の様子

担当:保健福祉部医療政策室医務担当 電話:019-629-5427

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により大きな影響を受けている地域経済の回復等を支援するために、事業継続を図ろうとする中小企業者に対して、いただいた寄付金を次のように活用しました。

○地域企業経営支援金支給事業(令和3年度事業)

令和3年4月から同年10月の期間において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により売上高が大幅に減少した対象業種を営む中小企業者に対して、収入減少額と店舗数等に応じて150万円を上限に支援金を支給しました。

また、「新型コロナウイルス感染症岩手緊急事態宣言(令和3年8月12日発出)」に伴う経営への影響拡大を踏まえて、上限額を200万円へ引き上げることでより手厚い支援を実施しました。

【新型コロナウイルス対策】地域企業経営支援金支給事業(令和3年度事業)

中小企業・個人申請者向け支援事業

地域企業経営支援金

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により厳しい状況にあっても、事業継続を図りながら事業継続を図るよう、感染拡大に伴って感染対策等に係る経費を支援します。

【新型コロナウイルス感染症対策】(令和3年8月12日発出)に伴う経営への影響拡大を踏まえ、本支援金の上限額を引き上げます。

本支援金の支援金額の算定にあたり、上記緊急事態宣言期間を念頭に、

1 店舗当たりの上限額	30万円	⇒	40万円
2 事業者当たりの上限額	150万円	⇒	200万円

※ 新規上場企業以外の申請者であっても同業種を営まない期間中の申請の場合は上限額を引き上げられません。
※ 既に本支援金の交付を受けている場合は、申請期間が満了期間の経過後に限り申請可能です。

地域企業経営支援金とは?

令和3年4月から令和4年3月の期間のうち、以下の1.2.3.の条件を満たす事業者に対し50%以上減少、または営業する3か月の売上高が前年同期比30%以上減少している製造業を営む中小企業者が対象となる支援金です。

- 1. 製造業を営む事業者であること。
- 2. 支援金の申請期間中に、1. 申請年度の12月31日以前に申請期間中に営業していること。
- 3. 令和3年12月31日以前に150万円を超える売上高を記録していること(1億円以下)。
- 4. 本支援金の交付対象となる業種に、業種が属していること。

【申請期間】
令和4年3月31日(木)まで(内10月31日締切)

支援金の申請しおたうちは、公益財団法人岩手県商工労働部及び前1名の申請からダウンロードしてください。

岩手県 地域企業経営支援金 申請書

【本支援金に関するお問い合わせ】 地域企業経営支援金事務局 019-654-2390
【問い合わせ先】 岩手県商工労働部及び岩手県商工会連合会
【お問い合わせ先】 岩手県商工労働部及び岩手県商工会連合会

担当:商工労働観光部経営支援課商業まちづくり担当 電話:019-629-5547

23.いわて子どもの森 みずの広場再生プロジェクト

令和3年度受入実績 906,000円

「いわて子どもの森」は、自然の中で自由な遊びや体験ができる子どもの健全育成の拠点として、岩手県北の一戸町奥中山高原に開館した県立の大型児童館です。

その中の屋外施設である「みずの広場」は、新型コロナウイルスの感染リスクが少ない貴重な遊び場である一方で、厳しい冬の寒さで劣化が激しく、再整備をしなければ、今後も継続して使用することができない状況にありました。

今後も子どもが自由に遊べる場を確保していくために、クラウドファンディング型ふるさと納税によりご支援いただいた寄付金を活用し、「いわて子どもの森 みずの広場」の再生を進めています。



みずの広場の再生工事の様子

担当：保健福祉部子ども子育て支援室子ども家庭担当 電話：019-629-5457

24.【三陸鉄道応援】被災地の「今」と三陸鉄道の魅力を伝える映像制作とモニター設置を支援したい

令和3年度受入実績 447,200円

三陸鉄道では「震災の記憶と教訓を繋ぐ」震災学習列車をはじめとしたスタディーツーリズムを推進しています。より多くの方々に被災地の「今」を知り、列車旅を楽しんでいただくため、沿線観光地や被災箇所等の動画作成や作成した動画を車内で視聴するモニター等の設置を行おうとする三陸鉄道の取組を支援するプロジェクトです。クラウドファンディング型ふるさと納税によりいただいた寄付金を活用して、事業完了目標を令和5年2月として事業実施中です。

○映像制作

震災の資料映像や被災地の「今」の様子、沿線の観光スポット等三陸の魅力もお伝えする映像に仕上げました。



ドローンを使っでの撮影の様子

○車内へのモニターの設置

2車両にモニターを設置して、今回制作した映像等をご覧いただきながら、より分かりやすいガイドを行います。



担当：ふるさと振興部交通政策室地域交通担当 電話：019-629-5206

IV 分野別型寄附の活用状況

魅力あるふるさとづくりに活用

令和3年度活用実績 1,686,037円

第4次産業革命技術を活用した日常生活の支援や、人と人のつながりを守り育てる仕組みの構築など、将来にわたり持続可能な活力ある地域コミュニティの実現に向けた取組や、地域コミュニティの活性化の支援等に活用しました。



文化芸術・スポーツ振興に活用

令和3年度活用実績 1,901,037円

地域の伝統文化をはじめとする文化芸術やスポーツの振興を図り、心豊かでいきいきと暮らせる地域をつくるため、地域の文化芸術活動の支援や、スポーツイベント・合宿の誘致やトップ・プロスポーツチームとの連携により多くの県民がスポーツに参加できるよう取り組む事業に活用しました。



若者・女性の活躍支援に活用

令和3年度活用実績 1,606,037円

若者たちが躍動する地域、女性が個性と能力を十分に発揮できる社会の形成を進めるため、多様な分野で活躍する若者の交流やネットワークづくりの支援のほか、いわて女性活躍企業等認定制度の普及など、女性が活躍できる環境づくりを進める取組等に活用しました。



保健・医療・福祉充実に活用

令和3年度活用実績 2,766,273円

医療、福祉・介護を充実していくとともに、健康と長生きのための取り組みを推進し、若者からお年寄りまで全ての人々が安心して暮らせる地域をつくるため、医師の確保を図るための取り組みや、質の高いがん医療提供体制の確立やがん患者等の療養生活の質の向上を図るための取組に活用しました。



ふるさとの未来を担う人づくりに活用

令和3年度活用実績 2,011,037円

豊かなふるさとの未来を担う人づくりの推進や教育の振興を図り、地域の活性化を実現するため、県内ものづくり産業や農業を支える人材の育成や、生徒一人一人の希望する進路の実現に向けた取組等に活用しました。

関係人口創出・拡大に活用

令和3年度活用実績 1,461,037円

岩手への人の流れを創出し、強化し、特定の地域に継続的に多様な形で関わる「関係人口」を創出・拡大するため、県外の方が地域の課題解決に関わる機会を提供する取組に活用しました。



いわてまるごと交流促進に活用

令和3年度活用実績 1,356,037円

岩手と国内外の人々との交流が広がる地域づくりに向けて、いわて花巻空港の利用促進による観光誘客やラグビーワールドカップ2019岩手・釜石開催のレガシーを生かした取組に活用しました。

岩手とのつながりを感じていただくために

岩手県では、ふるさと岩手応援寄付のほか、皆様に岩手との「つながり」を感じていただくために、次のような取組を進めています。

ご興味がありましたら、QRコードからご覧いただけると幸いです。

いわてのわ

「いわてが好き」「いわてのことをもっと知りたい」といった岩手に関心のある方々に向けて情報をお届けしたいと思い、Facebookページ「いわてのわ」を運営しています。

「いわてのわ」



遠恋複業課

岩手と離れて暮らしながらも、岩手でスキルを生かした複業をしたい!と考えている、複業を通じて岩手とお付き合いして下さる方を募集しています。

「遠恋複業課」



いわての旅

本州一の広さを誇る岩手県の、四季折々の豊かな自然や3つの世界遺産、個性豊かな温泉など、観光情報をご紹介する岩手県の観光ポータルサイトです。

「いわての旅」



いわて食財倶楽部

「山の幸」「海の幸」にあふれるいわては『食財の宝庫』です。いわての県産食材や本県食材を使用する飲食店、イベントなどをご紹介します。

「いわて食財倶楽部」



コミックいわてWEB

岩手ゆかりのマンガ家が描いた、岩手の文化、歴史・伝承、名所、グルメなど岩手の魅力が詰まったマンガを配信しています。

「コミックいわてWEB」



岩手さちこ【公式ch】

岩手県公認VTuber「岩手 さちこ」の公式YouTubeチャンネルです。様々な情報をお伝えしています。

「岩手さちこ【公式ch】」



イーハトー部に入ろう!

岩手県は、かつて宮沢賢治が「イーハトーブ」と名付け、心の中の理想郷として愛したふるさと。個性豊かな人々が、それぞれにいわて暮らしを楽しんでいます。そんな一人ひとりのこだわり方・暮らし方を、「部活動」の楽しさに見立て、「イーハトー部」を立ち上げました。

サイトでは、移住イベント情報や、移住者インタビュー記事、県・市町村の支援情報などを確認することができます。

「イーハトー部に入ろう!」



■メルマガジン「イーハトー部に入ろう!」仮入部通信」配信中です

岩手の最新情報や支援制度、岩手県在住の作家による「特別連載」など、いわて暮らしの魅力をお届けするメルマガを月3回、配信しています。ぜひご登録をお願いします。

「メルマガ登録」



遠野ふるさと村（遠野市）



滴生舎 浄法寺塗（二戸市）

《問い合わせ先》 岩手県ふるさと振興部地域振興室地域振興担当
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 電話：019-629-5184